

探訪 チャレンジ企業 56

アナログ(職人の技)とデジタル(NC工作機)
の融合で建具製作を!
有限会社竹田建具製作所：七尾市



竹田社長

今回のチャレンジ企業は、七尾市田鶴浜町で木製建具製造業を営む、有限会社竹田建具製作所です。同社は竹田憲昭社長が昭和四十一年に個人

創業され、五十三年に有限会社に法人成りしました。また、竹田社長は田鶴浜建具工業協同組合や石川県建具協同組合の理事長を歴任され、県内の建具産業発展に尽力されてきました。

一 地場産業衰退の危機感

平成十九年七月に特許庁のいわゆる「地域ブランド」に認定された田鶴浜建具ですが、現状は大変厳しい状況にあります。田鶴浜建具の製造業者は昭和五十三年の最盛期には六十六事業所、二百八十名の従事者がいましたが、住宅様式の洋風化や職人離れの風潮もあり、建具職人も平均五十八歳と高齢化が進み、後継者不足・育成も大きな課題となっています。現在では三十事業所程で百名程度の従事者となっており、このままでは、地場産業の地盤沈下には歯止めがかけられない状態にあります。

二 コンピュータによる建具製作

こういった状況に一石を投じ、少しでも若者が「建具」というモノづくりに関心をもってもらうため、竹田社長は「コンピュータによる建具製作」をコンセプトに、職人氣質が残る田鶴浜建具において、機械化で製造を補える部

分は徹底的に補い、作業工程をデータベース化できる設備・システムの導入に踏み切ったのです。

県内の建具業者の設備は手動の木工機が主流であり、熟練職人が手作業で建具の部材加工などを行っているのが現状です。こうした部材加工工程について、NC(コンピュータ)による数値制御)の工作機械を組み合わせ、ライン化することにより、組子細工や仕上げ工程である職人の手作業工程と機械作業工程の分業体制を構築いたしました。

従来の手作業による職人の技量の差による精度のばらつきがなくなり、品質の安定化や生産能力の向上による大幅な納期短縮が可能になりました。加工工程もデータ化され、経年変化による補修や増設、交換などの対応や応用ができるようになりました。

三 スーパー木工マシンの導入

今回導入した主力機械である「NC三軸六ヘッド全自動複合加工機」は、主にドアの中抜き加工や金具取り付け部分の加工を行う設備ですが、ドア加工に限らず、かまちなどの部材の溝や穴抜き加工に加え、三次元加工の「彫刻機能」や「自在切断機能」を付加したNC加工機で、複雑な

成形加工作業を自動で行い、デザインをデータ化することができ、神社仏閣などの大型物件や現代建築デザインの建具や家具製造にも対応が可能となりました。まさに「できないことはない」スーパー木工マシンです。

今後は、田鶴浜建具の技と、設計士や現代建築のデザインを融合させた「現代建具」を中心に、付加価値の高い商品開発に意欲を燃やしています。

また、今回の設備導入の評判を聞きつけ、大手ホテルチェーンからも、室内の和風装飾作製をできないかという問い合わせもあり、従来の建具製品以外の、新たな販売先の開拓も広がりつつあります。



スーパー木工マシン

四 社長の夢は

また、竹田社長の構想として、今回のNC加工機の導入



NC木工機で作った看板

工場を「建具工房 田鶴浜」として後継者育成の研修所として活用する予定で、田鶴浜建具の将来を担う人材が巣立ち、業界に再び活気を戻してくれるよう期待しています。

竹田社長は「厳しい市場競争を勝ち抜くには、伝統産業においてもコンピュータ化の流れは避けておれない時代になった。職人の技(アナログ)と先端技術(デジタル)との融合で、少しでも若者がモノづくりに興味を持ち、魅力ある産業にしていきたい」と業界発展への夢を語ってくれました。

(お問い合わせ)

有限会社竹田建具製作所

(事務所)

〒九二九-1222

七尾市田鶴浜町又部七番地

TEL 〇七六七-六八八-三三八

(取材：石川県商工会連合会)

能登支所 日下 雅喜

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。